

芦屋市議会議員

大原ゆうき



<http://oohara-yuuki.jp>



大原 裕貴



@ooharayuuki

12月定例会特集

一般質問(1)

高齢者の運転免許証の返納について

概要

- ◆返納に特典を付与する事業に関する考え方について
- ◆免許証返納に伴う利便性の低下への対策について

背景

- ◆全国的に見て、高齢者による運転事故が増加している
芦屋市においては現状で大きな事故には繋がっていないが、避けては通れない問題。
- ◆返納しても、芦屋市内で使える特典がほとんどない
「高齢者運転免許自主返納サポート協議会」によって兵庫県内で行われているサポート事業で市内で受けられる特典は阪神バスの路線半額のみ。
阪神バスは神戸～大阪を横断的に運行しているバスで、市内の循環運行は実施していないためマイカーの代替措置としては期待できない。
- ◆返納による高齢者の外出頻度の低下は避ける必要がある
マイカーのようにシームレスに利活用できる交通網の整備が必要。
(例) 民間で行われているタクシー配車サービスの利用促進
高齢介護課による高齢者バス運賃助成事業の利用促進

市長答弁

- ・高齢者交通安全教室などの場面において、返納制度の趣旨や特典についての周知を行う。
- ・市内の企業等が高齢者運転免許自主返納サポート協議会の活動に協力してもらえるよう、努めていく。
- ・交通網については阪急バスが全市的に運行しており、一定の網羅はされている。
が、今後はタクシー配車サービス利用のためのアプリの周知も進めていく。

一般質問(2) 高齢者や運転免許証を持たない成人 に対する交通安全の啓発について

概要

◆高齢者が関係する交通事故が多い

芦屋警察によると、11月に発生した交通事故のうち、高齢者の関係する交通事故は全体の36.1%。これは芦屋市の65歳以上の比率（約28%）よりも高い。

◆高齢者には、独自の交通安全講習が必要

若い頃よりも判断能力等が低下しているため、独自の講習の受講が必要となる。

◆運転免許非保持者は、交通安全講習の受講機会が少ない

運転免許保持者は、更新の際に交通安全講習を受講するが、非保持者はその機会が無い。交通ルールの啓発が行われない世代があることが事故発生率を高めていると想定される。

市長答弁

- ・高齢者安全講習は、兵庫県警と合わせると平成27年度、28年度ともに20数回の講習を開催している。また、デイサービススタッフにも受講してもらうことで、多重的な啓発を進めている。
- ・市や県警による一方的な講習では無く、各自治会などに自主的に企画してもらう出前講座なども検討している。
- ・各種イベント開催時にも交通安全に関する啓発を進めていく。

平成29～33年の行革について

芦屋市は阪神淡路大震災で財政面でも致命的な大打撃を受け、ドラスティックな行革（行政改革）を余儀なくされました。以来、継続して行政改革を実施しています。12月定例会では、平成29～33年の基本計画についての報告がありました。

これまでの行革の流れ

H15～18 行革	H19～23 行革	H24～28 行革
コスト削減型	システム改革型	課題解決型

➡ **トップダウン式行革**

H29～33 行革の特徴

- ・ **強みの強化、弱みの克服、新たな可能性の模索**について **職員主体** で実施する
これまでの市長主体の行革とは反対のアプローチであるボトムアップ的な取り組み。
- ・ 実行スピードが遅くなるなどのデメリットがあるが、これまでの行革で財政面の危機的状況を脱している現状を考えると、じっくり改革を進めていく時間的猶予がある。
⇒現場の声を行政に反映しやすくなるというメリットの効果の方が期待できる。
- ★ **提案された経緯としては、議員に促されてしぶしぶ・・・というものではないため、意欲的な取り組みが期待できると思われま**す。

大原ゆうき プロフィール

- ・ 昭和59年2月8日 芦屋生まれ（32歳）
- ・ シドニー日本人学校、関西学院中学部、関西学院高等部を経て関西学院大学経済学部を卒業。
- ・ 卒業後は民間企業でシステムエンジニアとして勤務。
- ・ 平成27年4月26日の統一地方選にて2793票ものご期待を頂戴し、初当選。

ブログ更新中！

議会活動の透明化のため、日々の活動などを更新し、情報公開力アップに努めています！

<http://oohara-yuuki.blog.jp/>

